

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	自殺対策関係事業		<b>担当部局庁</b>	障害保健福祉部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度		<b>担当課室</b>	精神・障害保健課		福田祐典		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	自殺対策基本法第17・18条		<b>関係する計画、通知等</b>	自殺総合対策大綱 等				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	自殺対策基本法では、第17条に自殺未遂者に対する支援、第18条に自殺者の親族等に対して支援を行うべきと定められているところであるが、自殺未遂者や自殺遺族、周囲の人々に対する支援を行う専門職に対する研修等を行うことにより、自殺未遂者・自殺遺族等の精神的ケアを一層充実させることを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	①自殺未遂者の再度の自殺を防ぐために、入院中及び退院後の心理的ケアを中心に、医師、看護師、保健師等を主に対象にした研修を開催する。 ②一般かかりつけ医と精神科医の連携体制の強化や精神科医療従事者に対する研修を行い、精神医療の質の向上を図る。(平成22年度において、各都道府県に設置されている地域自殺対策緊急強化基金に積み増しを行った。)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	54	18	17	11	11	
		補正予算		752				
		繰越し等						
	計	54	771	17	11	11		
	執行額	26	762	10				
執行率(%)	48	99	59					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	自殺者数の減少(数値目標は記載困難)		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	自殺未遂者ケア研修及び自死遺族ケアシンポジウムの開催回数		活動実績(当初見込み)	研修3回 シンポジウム1回	研修4回 シンポジウム1回 (研修4回 シンポジウム1回)	研修4回 シンポジウム2回 (研修4回 シンポジウム2回)	- (研修4回)	
<b>単位当たりコスト</b>	1,666,667(円/回数)		算出根拠	10百万円 / 6回 = 1,666,667円/回数				
<b>平成24-25年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	自殺未遂者・自殺者遺族ケア対策事業	11	11	-				
	計	11	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	年間約3万人の自殺があるが、未遂者はその10倍いると言われている。未遂者ケア技術の向上を図ることは自殺予防につながり、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	自治体ごとに実施するほうが開催回数が増加し、1回あたりの受講人数は少なく、逆に効率が悪い。また、講師をできるほどの専門家も少ない。国がまとめて実施するのが効率的。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	最低価格落札方式で競争入札を行っているためである。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札によって選定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	最低価格落札を行い、非常に少額の価格となった結果、必然的にコスト削減となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受講者からは受講料は徴収しないが、自殺予防は国家的事業であり、徴収しないことが妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業開催に必要な経費のみに支出されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ハイリスク者に直接接する救急医療従事者への研修は、自殺予防への実効性が非常に高い。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みのとおり開催している
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	受講者は受講後に救急現場等の職場に帰り、日常の業務に活かされている。
点検結果	<p>事業計画において事業内容、経費の支出予定等を確認のうえ契約締結し、事業実施中においても、実施団体に対して適宜指示を行い、適切な経費支出が行われるよう図っている。事業終了後の実績報告により最終確認を行い、確定額を精算払いしている。不用額をふまえ、23年度17百万円であったの予算は、24年度には11百万円と削減を行った。今後も予算の執行状況等を踏まえつつ、施策の推進に必要な予算の確保を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>-本経費については、平成24年度予算において見直しを行っており、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	482	平成23年行政事業レビュー	438

※平成23年度実績を記入

厚生労働省  
10百万円



【一般競争入札】

A 株式会社プロセスユニーク

10百万円

自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修の  
開催

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.株式会社プロセスユニーク			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修に係るスタッフ等賃金	2			
諸謝金	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修に係る講師謝金	2			
印刷製本費	自殺未遂者ケア研修に係るテキスト等印刷費	2			
借料	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修に係る会場・備品借料	2			
旅費	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修に係る講師等旅費	1			
役務費	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修の開催に係る雑役務費	1			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	株式会社プロセスユニーク	自死遺族ケアシンポジウム・自殺未遂者ケア研修の開催	10	5	0.58
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					